

## ファストフォワード取扱説明 (ジェイピースポーツグループ制作)

この度は、ファストフォワードホイールをお買い上げ頂き誠にありがとうございます御座います。

ホイール状態確認やメンテナンス、正確な取り付けは、ご自身の安全に極めて重要です。ご使用前には、このマニュアルを最後までお読みいただき、ホイールの特性を十分にご理解ください。

本マニュアルでは、推奨される点検やメンテナンスが説明されています。

それらを実施頂く事は、未永く商品の持つ最高のパフォーマンスが発揮されることに繋がります。なお、本製品の不適切な取付、使用は深刻な傷害に繋がります。

取扱、点検にご不明な点がある場合は、必ず自転車組立資格のある店舗へご相談ください。

### ■乗車前点検

毎回乗車前には、ここに掲げた各アイテムを必ず点検し、ホイールの状況とバイクに適切に取り付けられていることを確認してください。もしご自身のホイールにサービスや詳細な点検が必要な場合、販売店にご相談してください

#### □ ホイールの振れの有無の確認

ホイールの振れは、走行時の安定性を損ねると共に、ブレーキングにも悪影響を及ぼします。振れを発見した場合は、速やかに販売店へご相談ください。

#### □ リム面のキズの有無の確認する

リムの汚れや油分は、著しくブレーキ性能を低下させます。特に汚れたリムは重大な安全リスクを伴います。ブレーキ当たり面をきれいなウエスで拭き取り汚れが無い状態にしてください。

#### □ ブレーキパッドの厚みと状態、適切な調整の確認

ブレーキパッドの残量が少ない場合、適切な制動力を発揮できない可能性があります。パッドの溝の浅い場合は交換してください。また、ブレーキシューの位置は、リムブレーキ面に対してなるべく内側の位置にシューが当たるようにセッティングします。

#### □ タイヤの空気圧が適切かどうか確認する

適正空気圧は、チューブラーホイール及び、アルミクリンチャーホイールの場合、タイヤメーカーの定める空気圧に従ってください。フルカーボンクリンチャーホイールの場合、最大 8bar (120psi)を上限としています。

#### □ クイックリリースが適切な位置で正しく締まっていることを確認する

このホイールにはクイックリリースホイール保持メカニズムが搭載されています。このクイックリリースにより、ホイールは工具なしで着脱が可能となっています。振動でレバーが開かないように、レバーの反対側のナットで、レバーを倒す時、十分な手応えがあるように調節してください。(注意) ホイールのクイックリリース保持メカニズムを、正しく調整し締め付けることができなかった場合、自転車のコントロールを失い、結果、ライダーに怪我や死を招く事になります。このシステムの操作に疑問がありましたら、ご購入された販売店にご相談ください。

□ **ホイールの回転状態に異常が無いかの確認。**

ホイールを空転させ、異音、ガタが無いかを確認してください。異音、ガタを発見した場合速やかに原因を追究し、取り除いてください。

■ **定期点検**

**週毎の点検**

□ **スポークの緩み、損傷、曲り、破損がないか点検**

スポークの異常はホイールの破損の原因に繋がります。異常を発見した場合は速やかに販売店へご相談ください。

□ **リムのクラックの有無の点検**

アルミリムは高い圧力を受けるコンポーネントでその寿命は有限です。リムにその疲労寿命が近づくと、クラックが生じます。もしクラックを発見したら、そのホイールには乗らないでください。必ず販売店に持って行き、点検を受けてください。カーボンファイバーリムは、事故、衝撃、あるいは不適切な扱いの結果、損傷する可能性が高くなります。カーボンファイバーコンポーネントへの損傷は内側に潜む場合もあり、外側からは、一見損傷していないように見えます。しかし、事故、衝撃を受けた後は、クラック、深い引っかき傷や穴、カーボン層の剥離や緩み、そして表面のひびなどないか、慎重に確認してください。もし、リムに損傷があると疑われる場合は、販売店に持ち込み、より詳しく点検を受けてください。

**月毎の点検**

□ **前後ホイールのハブベアリングに過度な緩みがないか点検**

ハブベアリングは常に回転しており、長期の使用により、摩耗や緩みが発生する可能性があります。定期的に確認することで、事故を防ぐことができます。異常を発見した場合は販売店へご相談ください。

■ **互換性と推奨**

各ホイールには推奨するタイヤサイズ、延長バルブ、カセットギア、ブレーキシューが存在します。延長バルブやブレーキシューは、付属する純正部品をご使用ください。純正パーツ以外を使用され生じた不良については保証対象外となります。

・適正タイヤサイズ：FFWD すべてのホイールは 22 c -32 c に対応しています。

・カセットギア対応：SRAM/Shimano11 速仕様のフリーはハブボディには、9、10 速対応に 1.85mm のスペーサーを付属しています。必ず先に 1.85mm スペーサーを入れてから、9、10 速カセットを装着してください。

**重要：**FFWD のフルカーボンホイールを使う際は、必ず FFWD のカーボン用ブレーキパッドを使用してください。カーボン以外のブレーキ面のホイールで乗る際には、ブレーキパッドの交換を行ってください。ブレーキ面の破片がブレーキパッドに詰まると、フルカーボンリムに修復不可能な損傷をもたらす場合があります。

## ■メンテナンスと装着

本製品の不適切な取付、メンテナンス、及び使用は深刻な傷害に繋がります。弊社ではメンテナンス及び、点検は必ず自転車組立資格のある店舗へご相談されることを推奨いたします。

### ホイールの振れ取り

ホイールの振れ取りには専用工具と知識が必要であり、有資格者のプロホイールビルダーに任せることを推奨します。もし、あなたのホイールを振れ取りする必要があると思われる場合は、販売店に持ち込んでご依頼ください。

指定テンション フロント：各スポークともに 90/100kgF

リア：ドライブ側は 110/120kgF、ノンドライブ側は 90kgF

(F2R はフロント、リアともに-10Kgf に設定されています。)

### ハブベアリングの点検および調整点検

時の経過と共にホイールのベアリングは摩滅するか、調整が必要になります。バイクからホイールを外し、クイックリリース一式も外します。ホイールのどちらか一方のアクスルエンドキャップを、人差し指と親指でつまみ、軽く引っ張ったり、押ししたりして、もし遊び（軽いガタ）を感じるならば、ベアリングを調整する必要があります。また、指でつまんで回転させた時に、正常ならスムーズに回転します。回転にひっかかりがあったり異音がするなら、ベアリングの交換時期です。ベアリングの交換には、専用工具と知識が必要であり、知識をもったメカニックに任せることを推奨します。もし、あなたのホイールのハブに異常を感じた場合は、販売店に持ち込んでご依頼ください。

### タイヤの選択と装着—クリンチャータイヤ

通常のクリンチャータイヤ装着手順に従ってください。もし、タイヤ装着に慣れていなければ、お手元の自転車取扱説明書を調べるか、販売店に確認ください。タイヤの取り付け、取り外し共に、金属製タイヤレバーの使用は避けてください。リムを損傷させる場合があります。

### タイヤの装着—チューブラータイヤ

チューブラータイヤ：FFWD は、チューブラータイヤを取り付けるための接着リムテープの使用を推奨していません。チューブラータイヤはカーボンリム用のリムセメントで接着されたとき、最適にフィットします。

## ■取扱についてのご注意点

### 管理とクリーニング

一般的な清掃では、カーボンへの影響のない洗剤を使った水洗いを推奨します。なお、高圧ホースによる水洗いは避けてください。水圧でベアリングシールも洗い流すことになります。この際、溶剤がタイヤに付着しないよう注意してください。

### ■保障の適応除外

1. 不適切な組み付け及びメンテナンスによる損傷。
2. ホイールに対し設計外の衝撃を与えた場合。交通事故、衝突、転倒、段差等。
3. 意図されないパーツ、アクセサリーの交換に起因するもの。（純正品以外への部品交換など）
4. 酷使、ライダーに危険が伴う状況下での走行。
5. 競技での使用により発生したもの。
6. 試乗車等、購入者以外の不特定多数で使用される場合。
7. 地震、落雷、火災、水害、公害、その他人災、天災、地変により生じたもの。
8. メンテナンスの不備及び、時の経過により生じた塗装面、その他これに類する不具合およびプラスチック部品等の自然劣化等。
9. 通常の消耗と認められるものOリング等のゴム類また、定期的に交換が必要とされる部品の劣化。
10. 一般に実用上影響のない感覚的現象（音、振動など）。
11. 本保証書に示す条件以外の費用など。